

賀川春子 (おはな) キリス下教社會運動家。明治二十一年二月十六日神奈川縣横須賀生れ、昭和五十七年五月五日歿（八八―九八）。舊姓芝、本名ハル。賀川はる、賀川はる子とも署す。明治三十五年横須賀の豊島尋常高等小學校を卒業、東京日本橋の相場師の家へ女中奉公。翌年伯父に引取られて私立女學校に通ふも續かず。三十七年父を始の家族全員の神戸へ移住、福音印刷合資會社製本部に入り、前後七年勤めて女工頭になつた。また聖書を作つてゐる關係で、毎週牧師が來て三十分の説教があり、四十四年牧師に連れられて來た賀川豊彦に出會ふ。大正二年結婚。翌年豊彦のアメリカ遊學中、共立女學校へ入學。爾來豊彦と行き共ひし、その歿後とイエス團、重松社理事長、イエスの友會長等を務めた。

著書に『女中奉公と女工生活』（大正十二年四月十五日福音書店。米壽記念復刻版・昭和五十一年八月刊）、小説『太陽地に落ちず』（昭和二十二年四月五日福音書房）、『月夜を害はず』（昭和二十二年十月一日福音書房）等。

